

“音楽の権利”が尊重されるいま、 正当な楽曲提供を行なう施設が 求められている



2013年10月、ブライダルでの音楽の適法利用のためのワンストップ・システムを提供するISUM（一般社団法人音楽特定利用促進機構）設立。結婚式場やホテルは音楽の著作権・著作隣接権を守りながら、人生の晴れの舞台である婚礼において楽曲を使用するための手続きを正当かつ容易に行なうことができるようになった。ブライダル事業を展開する(株)エスクリは婚礼ビジネスにおける音楽の存在意義をどのように捉え、サービスの発展へとつなげようとしているのか。両代表の対談によって、婚礼と音楽の関係性を読み解く

一般社団法人音楽特定利用促進機構（ISUM = Initiative for Special Uses of Music）

代表理事 アレクサンダー・アブラモフ氏

×

(株)エスクリ 代表取締役社長兼最高執行責任者 / (株)渋谷 代表取締役会長
渋谷守浩氏

ゲストの個別リクエストをキャッチ 内製化によるサービスの高度化

渋谷 当社が展開しているゲストハウスは、例えばアレルギー対応やハンディキャップといった条件をお持ちのゲストの方々にも、しっかり対応することを挙式者にとっての一つのメリットとして打ち出しています。このようなきめの細かいサービス提供のために必要なのは、結婚式に出席されるゲストの情報を事前にキャッチする力だと考えています。

そこで当社が開発したのが、WEBによる情報収集ツール「アニクリ」です。結婚式に参加されるゲストの方々、新郎新婦とそのご両親に必要な個別情報を「アニクリ」に入力していただき、収集された情報に基づいて当社のウエディングプランナーがいち早く対応の準備を始めるという仕組みです。早い段階から打ち合わせをスムーズに進められることから、式当日はゲストの方々にご負担をお掛けすることなく、完璧な形でお招きすることができるのです。

エスクリが運営する「ラグナヴェール東京」のチャペルにて。多数の主要駅からの好アクセスで、あらゆる年齢層のゲストが安心して結婚式に参加できる



上手に情報をキャッチしたら、次にその情報を使って式当日に想定される課題をクリアすることが重要なポイントとなります。ここではエスクリの基本方針である内製化が力を発揮することになります。キッチンはもちろん、サービス、ドレス、生花、カメラなど、すべての分野について内製化している当社のようなやり方は、ほとんど類を見ないと思います。

アブラモフ 渋谷社長がおっしゃる情報の中に音楽も含まれていると思います。ISUMは新郎新婦のお気持ちを叶えるために、求められた音楽をとことん追いかけます。リクエストが寄せられれば、例えISUMのホワイトリストに載っていない楽曲であっても、新郎新婦の期待に応えるために追いかける姿勢を活動の基本としています。

4年前に500曲からスタートしたISUMのホワイトリストは、現在1万曲弱になっています。新郎新婦やブライダル事業者の方々から新しい楽曲についての要望を受け、そのニーズに応える形で進めてきました。

ISUMの登録事業施設に関する 確認の問い合わせが増加

渋谷 一つの大きな傾向として、新郎新婦のご両親がその式場がどのような会社によって運営されているのかについて非常に気にされることが挙げられます。多くの親御さまはとても用心深く、「1年後に結婚式を挙げるときこの会社は本当にまだあるのか」といった心配をされたりもします。

私たちが東証一部の上場企業で在り続けているのも、信頼を得るためにはお客さまの不安を払拭していく必要があると考えているからです。

アブラモフ 安心感はとても大切な要素だと思います。私たちはさまざまな形で音楽に関する啓発活動を行なっておりますが、2017年の初めあたりから、ISUMへの問い合わせのほとんどが新郎新婦からの「この式場で挙式を考えているのですが、ISUMの登録事業施設ですか」といった内容です。

結婚式は人生の門出であり、新郎新婦は安心感の中で挙式したいという気持ちを強くお持ちです。ISUMに登録していただくことで、その施設は大きな安心感をお客さまに与えることができます。

渋谷 エスクリではこれまで音楽に関わる取引会社からISUMに登録申請していただいていたのですが、自社で行なっていくことも重要だと気づいたことから、エスクリとしても登録しました。

高品質な結婚式を取り扱っている私たちとしては、業界の模範となるべく自社で直接申請を行ない、法律に関する最新の動向についても常に把握しておく必要があると考えを深めました。このことから、ISUMの登録事業者となる道を選び、業界の模範となる決断をしたのです。

音楽から始まるブライダルの プランニングがあってもいい

アブラモフ 一般の方々の著作権・著作隣接権に対する認識が高まっていますが、その度合いはおそらく多くの式場やホテルの経営者の方々が想像されているよりもずっと高いものです。その動きを敏感に察知された渋谷社長と同様の姿勢を、より多くの経営者の方々にも持っていただければと期待しています。

いろいろなところでお話をうかがっていると、結婚式のプランニングにおいて音楽は最後に選ぶというケースが多い

ようですが、音楽から始まるプランニングがもっとあってもいいと思います。

渋谷 結婚式で音楽をどう使っていくのかを考えたとき、比較的リーズナブルに高い効果を得られるマテリアルとして再評価できるかもしれません。

エスクリでは、音楽プロデューサー的な人材も採用していく構えです。社内の音楽プロデューサーがそれぞれのお客さまが求める音楽に対して、楽曲を使って料理していくというイメージです。

アブラモフ 個々人によって好きな音楽はまったく異なりますから、1万曲そろってあればこれで十分ということはありませんし、たとえ10万曲集めたとしても「十分」とは言われなんでしょう。これからも私たちは地道に1曲1曲、ホワイトリストに加えていくしかないと思っています。

渋谷 ブライダル市場においてシェアを拡大するためには差別化が必要であり、これまでにはなかったサービスの提案が求められます。たとえば当社では「リ・プロポーズ」というプランを提案しています。かつて結婚式を挙げるのでできなかったご夫婦が、子どもや孫たちの前でもう一度プロポーズするというイベントです。

アブラモフ 「リ・プロポーズ」においても、音楽は欠かせない演出になりそうですね。

ブライダル業界の方々にはこれからも楽曲に関する要望をISUMにどんどんお寄せいただき、ホワイトリストをより充実したものにしていきたいと考えています。同時に私たちの活動を通じて、ブライダル業界と音楽業界の交流がより密なものになっていくことを願っています。